

たんぽぽだより

春日こども園

令和7年度 活動報告 NO.7



＜絵画展＞ 「パンどろぼう」の絵本をテーマに3学年で共同製作をしました。たんぽぽ組は、お皿、棚、看板の色を塗りました。塗り進める中で、「白いところがあるよ」「手伝うよ」など気付いたことや思いを伝え合いながら丁寧に塗っていました。完成すると「きれいに塗れたね!」と友達同士で喜ぶ姿も見られました。今後も、友達と一緒に一つの物を作り上げる楽しさを感じられるようにかかわっていきます。



＜給食＞ 1月から箸を使って食事をしています。「早くお箸を使いたいな」「お家でも使っているよ」と、箸を使うことをとても楽しみにしていました。しかし、実際に使ってみると思うように握めず、苦戦している子もいました。保育者に正しい持ち方を教えてもらったり、繰り返し挑戦したりして食べ物を握めた時には「見て!できたよ!」と笑顔で知らせてくれました。これからも正しい姿勢や箸の持ち方が身につくように伝えていきます。



＜正月遊び＞ 凧揚げやこま回しなどの正月遊びを楽しんでいます。凧はビニール袋に絵を描いたり、はさみで切った紙を貼ったりして作りました。風を感じながら、友達と元氣いっぱい走り、凧揚げを楽しむ姿が見られました。こま回しは、友達の姿に刺激を受けながら、何度も取り組み、回せた喜びを感じていました。また、こまを逆に回して「きのこ回し」ができると「できるようになったよ!」と嬉しそうに教えてくれました。今後も、季節の遊びに興味をもてるような環境づくりをしていきます。



＜自由製作＞ 空き容器や空き箱などを使って製作遊びを始めました。好きな空き箱を思い思いに選び、セロテープを使ってつなげていきました。「うさぎができたよ!」「電車作ったよ!」と完成した物を友達と見せ合ったり、作った物で遊んだりする姿が見られました。作っている友達の様子を見て「私も作りたい!」「どうやってやるの?」と興味もち始める子や友達が作った物を真似する子もいました。これからも、子どもたちのアイデアやイメージを大切にしながら、思い思いに製作を楽しめる環境を整えていきます。



＜大鍋＞ 白菜と椎茸をちぎりました。白菜をちぎっている時に「白いところ硬いね」と芯の硬さに気が付いたり、椎茸の匂いや感触に興味をもったりする姿が見られました。「小さくちぎったよ!」とみんなが食べやすい大きさを考え、ちぎっていました。完成した豚汁を食べると「白菜入ったよ!」と友達と教え合ったり、「椎茸食べれたよ!」と苦手な物も自分から頑張って食べたりする姿が見られました。みんなで作った嬉しさから、進んでおかわりをする子もいました。身近な食材に触れながらみんなで作る楽しさを感じることができました。



＜豆まき会＞ 「おなかのなかに鬼がいる」の絵本を見て、自分のお腹の中にはどんな鬼がいるかを考えました。「泣き虫鬼がいる」などと自分の中の鬼について教えてくれました。「鬼をやっつける!」と自分の中の鬼を退治しようと、新聞で作った豆を鬼に夢中で投げる姿が見られました。節分の由来を知ったり、節分に関する歌や踊りを踊ったりすることで日本の伝統行事に興味や関心をもつことができました。これからも、日本の伝統行事に親しむ機会を大切にしていきます。